

令和4年第2回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
板東泰史議員	1. 児童館の受け入れ時間の拡大について 北島町は県内でもサービス経済化が進行している。児童館について、土日祝日の受け入れを平日と同等に強化してはどうか。	児童館の人員は限られており開館日を拡充することは困難な状況であるが、ファミリーサポートセンターなども活用してほしい。	左記により完結。	
	2. 保育所のおむつ持ち帰り問題について 公立保育所の約4割で使用済のおむつを保護者が持ち帰っている。町立保育所は、おむつの持ち帰りは行われているか。	現在、使用済みのおむつは保護者が持ち帰っている。今後は、保育所で廃棄するように検討したい。	令和4年7月から大きいゴミ箱を設置し使用済みおむつを廃棄するようにした。燃えるゴミの日に清掃センターに回収してもらっている。	
	3. キャッシュレス決済の普及に伴う商業振興策について キャッシュレス決済の中には地方自治体が商業振興策として、行政区域内の決済でボーナスポイントが付与されるサービスもある。導入を検討してはどうか。	今年度は商工会が実施するプレミアム付き商品券事業により、町内事業者の活性化を図りたい。今後コロナ禍で地方創生臨時交付金が追加に交付された際には、町全体で使途について改めて検討していく。	今後プレミアム付き商品券事業での活用も含め検討していく。	
	4. 長期金利の上昇による町予算への影響について 急激な円安を防ぐためには、ある程度の長期金利の上昇は避けられない。北島町において変動金利による債務残高は存在しているか。ある場合どの程度か。	令和3年度末の地方債残高は、約64億5千万円で、その内、利率見直しによる借入分の残高は、約48億7千万円である。その内、元利償還金の100%が普通交付税にて措置される臨時財政対策債の残高は約41億4千万円であり、臨時財政対策債を除いた残高は約7億3千万円となっている。	左記により完結。	
佐々木紀子議員	1. コロナ禍における原油価格・物価高騰の緊急対応について 政府が総合緊急対策としてコロナ禍での原油価格・物価高騰対応の臨時交付金が拡充・創設された。 ①学校給食費の値上げをする地域もあるが、本町は今後どのように対応するのか。	現在、値上げは検討していない。半額補助を継続し、臨時交付金の活用を視野に入れ保護者負担を減らすことのないよう努めていく。	今後も燃料費等の高騰が続くことが想定される。町からの補助等増額も含め、状況を確認しつつ給食費金額についても検討をしていく。	
	②住民税非課税世帯や、コロナによる家計急変世帯へ1世帯10万円を早急に給付しているが、今後、町からの上乗せをすることも検討してはどうか。	昨年度から引き続き、令和4年度住民税非課税世帯も給付対象とされた。この改正は未申請の世帯への運用改善である。上乗せ給付は考えていないが、対象世帯に個別通知していく。	左記により完結。	
	③同様に子育て世帯生活支援特別給付金として、児童1人当たり一律5万円を給付していくが②と同様、給付の上乗せをすることも検討してはどうか。	地方創生臨時交付金を活用し8月末日時点で本町に住居登録が有り、今年度末時点で18歳までの児童1人につき1万1千円分の北島町商工会発行プレミアム付き商品券を配布したいと考えている。	9月下旬に、対象者へ商品券を配布した。	
	④事業者への負担軽減に資する支援事業の対応策は、どのように考えているのか。	今年度もプレミアム付き商品券事業で1割増の商品券を2億円分発行し、消費拡大と事業者を両面で支援していく。 また国や県が実施の事業者に対する支援金を補足する形の支援を検討している。	北島町事業継続支援金を創設し、事業者への支援を行った。	
	2. マイナンバーカードの更なる普及促進に向けた本町の取組について マイナンバーカードの普及に向け、マイナポイント第二弾が今月末から始まる。本町の更なる普及促進を図るためには、どのように取組んでいるのか。	北島町のマイナンバーカードの普及率は、県下一位を継続している。北島町手続きナビの運用開始によりマイナンバーを利用したオンライン申請でのワンストップ化に向けた取組を関係機関と連携し進めていく。今後も、マイナンバーカードの利便性や安全性を広報し普及促進に努めていく。	マイナンバーカードの普及に向け、交付申請等のサポートに加え、役場1階ロビーにてブースを設けて、マイナポイント申請サポートも開始した。マイナンバーカードを利用した申請のオンライン化により、手続きの負担軽減等による住民サービスの向上と事務の効率化を図っていく。	

令和4年第2回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
	<p><b>3. 本町の認可保育園で働く保育士への追加支援について</b> 令和2年度に、本町の認可保育園に就く全職員に商品券が給付されたが、第二弾の給付を検討してはどうか。</p>	<p>第二弾の給付については、今後、検討していきたい。</p>	<p>地方創生臨時交付金に余裕がなく、今回は残念ながら見送ることとなった。</p> <p>子育て支援課</p>
	<p><b>4. ヤングケアラーの支援強化と支援宣言について</b> ヤングケアラー問題は、未だ認知度が低いのが現状である。 ①今後、早期発見と効果的な現状把握に向け、どのように取り組んでいくのか。 ②行政だけでなく、地域全体で見守ることも重要であるが周知方法はどうか。</p>	<p>早期発見には大人の気付きが重要とされ、教育委員会、健康保険課介護担当等と連携し、早期発見と現状把握に努めている。また、地域での見守りとして、民生委員児童委員協議会の定例会時に話をしたり、広報誌・ホームページでの周知にも取り組んでいく。</p>	<p>引き続き関係機関と連携し、早期発見と現状把握に努めるとともに、民生委員児童委員協議会の6月定例会時にお話をさせていただく等、周知にも努めている。</p> <p>子育て支援課</p>
武山光憲議員	<p><b>1. 教員採用、学級編成について</b> ①教育現場では、非正規で働く臨時教員が全体的にも増え、逆に正規教員が減ってきている。</p>	<p>公立学校に配置される教員数は学級数を基準に算定される。また配置される臨時教員はベテランの教員OBや、本町での教職経験がある教員が多い。</p>	<p>来年度配置される教員数については学級数を基準に算定される。児童生徒数に対応した人員を配置するよう関係機関に要望していく。</p> <p>教育委員会</p>
	<p>②自治体により、受験年齢の上限を従来の45歳未満から60歳未満に引き上げるところもある。</p>	<p>本県は上限年齢が60歳未満となっている。</p>	<p>今後の状況を注視確認する。</p> <p>教育委員会</p>
	<p>③政府の基準は、2025年度には全学級35人にする方針である。 以上3点の現状と方向性をお尋ねしたい。</p>	<p>徳島県では既に小・中学校とも1学級35人以下となるように教員を加配している。30人未満の学級が多いが、本町では小学校で約半数の学年で、中学校はすべての学年で1学級30人以上の学級編成がされている。引き続き、適正な学級編成について県教育委員会等に要望していく。</p>	<p>小・中学校とも1学級35人以下となるように教員を加配している。今後も適正な学級編成について県教育委員会等に要望していく。</p> <p>教育委員会</p>
	<p><b>2. 医師会と救急隊と搬送先との連携について</b> 救急隊が、通報段階で患者情報を把握できるよう救急ネットワーク稼働に動く自治体もある。医師会、救急隊、搬送先との協議を提案してはどうか。</p>	<p>ICTを活用した救急搬送支援システムが本年11月に運用開始予定であり、合わせて県が医師会などと連携を進めていくとのことである。</p>	<p>県主導により令和4年11月から板野東部消防の救急搬送にもシステムが導入運用されている。引き続きシステム改修のほか連携する病院の拡充などが進められている。</p> <p>危機情報管理課</p>
	<p><b>3. 災害時の職員派遣と支援を受け入れる「受援体制」について</b> ①2016～2020年度に発生した自然災害で、被災地に応援職員を派遣した実績はあるのか。</p>	<p>過去に宮城、鳥取、熊本などの被災地へ町職員を派遣した実績がある。</p>	<p>左記により完結。</p> <p>危機情報管理課</p>
	<p>②板野郡5町は鳥取西部6町1村と危機事象発生時相互応援協定を結んでいるが、定期的交流ができているのか。</p>	<p>これまでにお互いが相手先を訪問交流するほか、近年はウェブを活用して災害に係る情報交換などを行っている。</p>	<p>今年度、板野郡では令和5年1月に受け入れ、防災施設の見学などを実施する予定としていたが、大雪の降雪となったため中止になった。</p> <p>危機情報管理課</p>
	<p>③北島町は欠勤者多数時の業務継続計画を策定しているが、人事異動後、継続内容は継承されているのか。</p>	<p>4月の人事異動により業務継続計画とともに関連する計画を再度組み立て直していく。</p>	<p>業務継続計画について、再度見直し作業を行っている。</p> <p>危機情報管理課</p>
	<p><b>4. 災害時の車中泊、夜間訓練について</b> ①車中泊の状況として本町は面的にも駐車スペースが狭く、無秩序になることも想定される。どのような計画をされているのか。</p>	<p>県も車中泊のことは、選択肢の一つとして慎重に検討している。今後も共に対応を考えていきたい。</p>	<p>県西部で開催された車中泊の研修に参加。車中泊独自のルールなど各種課題もあるため、今後も検討を継続していく。</p> <p>危機情報管理課</p>

令和4年第2回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	②災害はいつ起こるかかわからないことから、夜間訓練について県内外自治体の実施内容を検証してはどうか。	夜間の避難は日中と違い人々の行動に多くの制限をもたらす。夜間訓練で初めて見えてくることもあるため、コロナの動向を見つつ検討していきたい。	コロナのため自主防災組織の会議を実施できなかったが、今後の開催時に提案、検討をしていく。	危機情報管理課
	5. 災害時の情報提供の立て看板の設置について 災害時の情報提供として、案内看板設置と同時にQRコードを貼り付けてはどうか。	議員提案の手法を参考に情報提供の仕方を工夫し、他の関係部署にも活用を伝えていく。	看板の設置場所と情報提供の内容について、全体的に計画を検討したうえで、導入を進めていく。	危機情報管理課
	6. 地震時の臨時情報と災害時の避難指示について 臨時情報が発表された場合、県内では、住民及び高齢者等事前避難対象地域が設定されているが、本町は当該地域の設定はされているが、町内には具体的地域がないという解釈なのか。また、地震時の臨時情報と災害時の避難指示を分かりやすく、冊子で配布できないか。	本町は避難ビルやタワーなどを指定することにより、避難困難地域は解消されていることから、事前避難対象地域は設定していない。臨時情報は、防災ハンドブックなどで分かりやすく解説している。	左記により完結。	危機情報管理課
	7. 避難所での態勢、備蓄管理と避難行動支援者名簿の逆手上げ方式について ①体育館でのWi-Fiの計画はどうか。	YGKドームにとくしまフリーWi-Fiが設置されている。	左記により完結。	危機情報管理課
	②備蓄の使用期限の設定に基づく管理はどうか。	備蓄物資は、保管場所や賞味期限などをデータ管理し、ローリングストックを行うようにしている。	左記により完結。	危機情報管理課
	③災害時の漏れ防止として、全登録者を提示し、拒否された場合のみ名簿から除く、逆手上げ方式を検討してはどうか。	昨年度、避難行動支援者台帳システムが導入された。議員提案の方式も含めて関係部署と検討していく。	関係部署と次の段階に向けて、各種事業と絡めながら進めることなど検討中。	危機情報管理課
	④北村と太郎八須地区で、開発申請により事業展開している新企業を視察した。従業員の災害時避難対策は、今後、町と協議していく必要があると感じたが、見解はどうか。	緊急避難場所は様々な所に多く構えることが望ましい。この機会に各企業へ打診していく。	現在協議をしている企業はあるが、今後も各種災害に対応できる建物の構造も見ながら検討し拡充させていく。	危機情報管理課
	8. 本町の字の区域・名称変更について 北島町を取り巻く環境も大きく変化しており、いつまでも郡・字のイメージでもないと思うが、まずは本町で協議してはどうか。	住所の変更は、住民生活に大きな影響を与えること、庁内の各種システムに改修費用等が生じる。実施には必要性等を勘案し、慎重に検討していきたい。	引き続き慎重に検討する。	総務課
	9. 町の賑わい 県外の方から、北島町は庁舎中心に賑わいがなく、庁舎に懸垂幕もなく、少し寂しいと言われた。新たな町の事業や、町民の関心が高い継続事業等を懸垂幕で発信してはどうか。	町の施策である「ゼロカーボンシティ宣言」の懸垂幕の制作を考えている。設置個所の増設についても検討していきたい。	現時点では、財政状況等を勘案した結果、懸垂幕の設置増設は今後の課題とする。	総務課
	10. 市街化調整区域における開発許可基準の見直しについて 洪水ハザードマップでの降雨計算は、令和九年から想定最大規模降雨に該当する。降雨量による建築制限の違いはどうか。また、これらの基準についての見解はどうか。	具体的な開発許可申請の手続きの流れは、まず災害リスクの高いエリアであるかの確認を行う。降雨の量による制限については、令和9年度以降は、想定最大規模による浸水想定区域にて3m以上のエリアかどうかにより確認する。	左記により完結。	建設課

令和4年第2回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
真谷大輔議員	1. 妊婦健診受診票について 出産予定日を超過する等で、自治体が発行する妊婦健診受診票より多く診察を受けた方への自己負担分を、町独自の政策で助成できないか。上限を決め、償還払いにする等、取組んでみてはどうか。	健診費用の助成については、安心して出産を迎えられるよう助成方法の検討を進めていく。	償還手続きのご負担を減らすため、出産予定日以降に使用できる受診票の追加について、県に要望したが、引き続き要望していく。	子育て支援課
	2. 今後の農地について 現在、北島町では企業誘致や宅地への転用による都市化が急速に進んでいる。このまま農地転用を進めていく方針なのか、聞きたい。 また、令和以降の農地転用について聞きたい。	今年度より市街化調整区域での開発は、津波規制の強化により農地転用が制限される。農業振興のため農地の集約や、有効な交付金等の情報周知に努めるなど開発とのバランスを調整していく。 令和に入ってから農地転用は、元年度が101, 283㎡99筆、2年度は26, 056㎡42筆、3年度は34, 152㎡43筆である。	左記により完結。	まちみらい課
	3. 北島中央公園の複合遊具改修について 北島中央公園広場の遊具が新しく改修されたが、以前より小さく不満の声も聞かれる。 なぜ、あの遊具にしたのか聞きたい。	遊具の維持管理・修繕などメンテナンスが容易である点と、未就学児が利用しやすい点と、遊具の追加や増設の要望があった際の設置場所として利用できる点がある。今後、できるだけご期待に添うような増設のための予算を計上していきたい。	遊具の追加や増設については検討をしていきたい。	教育委員会
橋本典幸議員	1. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種 4回目のワクチン接種に関して個々の接種回数を把握し、医療機関で混乱を招かないことや希望するワクチンを選べる体制づくり。幼児・児童の接種について所思を聞きたい。	初回接種を実施する医療機関の設定、若年層の3回目接種を対象に土曜日に接種できる医療機関での接種枠の確保、使用するワクチンにより医療機関や曜日を設定するなど、接種される方や医療機関が混乱を招かないよう取り組んでいる。 なお、5～11歳の小児への接種は、徳島県が実施医療機関を調整し、県内小児科などで広域的に接種できる体制となっている。	左記により完結。	健康保険課
	2. 教育現場におけるマスク対応 熱中症対策を主として、マスクを外す機会を設けようとする方針には曖昧な部分も見受けられる。町として個々の意見を尊重し、各教育現場で共通認識を持つべきだが所思を聞きたい。	基本的な感染対策を講じたうえで、屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業の際にはマスクの着用が必要ない事や、熱中症対策として登下校時に十分な距離を確保し、会話を控えることを前提としてマスクを外すよう指導する。	感染対策を講じ、屋外の運動場に限らず屋内の体育館等を含め、体育の授業の際にはマスクの着用が必要としていない。今後も国・県の状況を注視し対応する。	教育委員会
	3. 非常時持出袋の補助制度 非常時持出袋の内容物や保管場所を再確認する良い機会として防災備品の購入補助を再度、予算化してはどうか。また自主防災組織に交付される活動助成金との併用を禁じることが購入補助の条件となるが、所思を聞きたい。	今一度、補助制度を検討するとともに、個人ごとでも少しずつ「購入、保存、消費」を繰り返しながら、日頃からの自助を積み重ねてもらえるよう、あらためて啓発を図っていく。	定期的に町報などで啓発を図っていく。	危機情報管理課
	4. ペットのマイクロチップ義務化 6月から環境省による改正動物愛護管理法が施行され、販売前にマイクロチップを装着・登録することが義務付けられた。装着の推奨に向けて費用を助成する自治体もあるが、義務化に関して賛否両論の状況と考える。今後の方針の所思を聞きたい。	メリットとして、逸走・災害等で離れたペットとの再会、盗難・飼育放棄の抑止にもなる。また狂犬病予防法における犬の登録がスマホから可能で手続きの簡素化にもつながる。 反面、ペットの体内に異物を挿入することに抵抗感があるとの意見も聞かれる。現状は努力義務であるが、制度を理解いただけるよう広報等を進め、費用助成等についても県内他市町村の動向を注視しつつ検討していきたい。	費用助成等については今後他市町村の動向を参考に検討していきたい。	まちみらい課

令和4年第2回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
梶 哲也議員	1. 子育て支援について ①現在、本町では給食費の半額補助を行っているが、子育て世代への経済的支援と教育環境の整備充実策として、給食費を無償化してはどうか。	平成22年から学校給食費の半額補助を行っている。不測の事態が発生しない限りは、来年度以降も給食センターと予算精査のうえ半額補助を継続していきたい。	今後も燃料費等の高騰が続くことが想定される。無償化は難しい。町からの補助等増額も含め、状況を確認しつつ給食費金額についても検討をしていく。	教育委員会
	②ふるさと納税の活用対象事業で給食費無償化など細分化し、収支をホームページなどで見える化することで、寄附金の増額に繋がらないか。	全国の方が応援したいと思う使い道を設定し、具体的なメニューの追加を検討するとともに寄附金を使った取組についてホームページ等で公表していきたい。	具体的なメニューの追加や取組について、引き続き検討する。	総務課
	2. 企業人材派遣制度について 現在抱えている組織の課題を明確に把握し、人材の確保・育成を行うため、総務省では特別交付税措置による、地域活性化起業者制度を積極的に推進し支援している。 地域商品の開発・販路拡大、またはデジタル人材育成などの本町での課題解決が可能になると考えるが見解を聞きたい。	議員ご提案の制度と同様に企業版ふるさと納税（人材派遣型）などもあり、専門性の高い業務には、これらの制度の活用を検討しながら、取組を進めていく。	民間企業のノウハウを活用し、北島町の魅力や価値を向上できるように、令和5年度に地域活性化企業人の活用を考えている。	総務課
	3. 文化財について ①文化財の展示について、現在の図書館・創世ホール他に町内の空き家などをリノベーションし、展示スペースとして活用してはどうか。	空き家等の活用には、資料の解説や案内、資料や施設の管理を行う人員配置も必要となる。長期的視野で検討し、調査研究を進めていく。	継続して検討中である。	教育委員会
	②常設の展示スペースとして、国登録有形文化財住宅の活用を検討してはどうか。	有形文化財住宅は、個人所有であり居住用として、引き続き利用するため、常設の展示は難しいと考えている。	常設の展示は難しいと思われる。物件の有効利用については今後も検討を続ける。	教育委員会
伊勢政二議員	1. 職員善行表彰について 去る3月16日に町職員が、町内で自損事故を起こした男性を救助した。町として表彰規定に則り表彰することを提案したい。	このたびの迅速な対応については、町報に掲載し、広く町民の皆さまにご案内したい。	5月23日板野東部消防本部にて人命救助に貢献した3名に感謝状が贈られたことについて、町報7月号により掲載し、広く町民の皆さまにご案内した。	総務課
	2. 高齢者や聴覚障がい者支援で窓口職員の話ディスプレイに 高齢者や聴覚障がい者が、役場の窓口を訪れた際に、対応した職員らが話した言葉を文字化して表示するディスプレイを設置している自治体がある。北島町も導入することを提案したい。	最新のデジタル技術等の活用により、さらなる住民サービスの向上が図れるよう、今後も情報収集を行っていく。	引き続き情報収集し検討する。	総務課
	3. チューリップ公園移設について 現在のチューリップ公園は、民家との境界コンクリート塀が数センチしかない。隣家の迷惑を考慮し、現在より広い場所に移動できるよう、町民体育館の南側周辺で協力していただける農家の方を探してはどうか。	公園移設については、来場者の駐車場の確保も必要であるため、現在の場所周辺で適した土地があるか、ご指摘の場所も含め慎重に検討していきたい。	今後も場所の選定も含め慎重に検討していきたい。	まちみらい課
増谷禎通議員	1. 行政区変更問題について ①高房地区土地の行政区変更は、狭い北島町にとって今後の行政運営に不可欠である。徳島市との交渉を再開されたい。	令和元年7月以降、協議は進展していない。今後新型コロナウイルス感染症の発生状況等を見て、徳島市との協議を再開したい。	令和4年7月27日、徳島市と協議をしたが、現状では行政区変更については進展は見込めない状況である。	総務課
	②徳島市行政区の土地を北島町土地開発公社で取得し、墓地移転や公園事業などを促進するために徳島市との行政区変更の交渉はできないか。	土地開発公社で他行政区の土地を購入することは難しく、行政区の変更は自治体間で進めて行くべき問題と考える。	左記により完結。	建設課

令和4年第2回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応	
	<p><b>2. 子ども食堂問題について</b> ①子ども食堂の今後の活動の中で、子ども未来などの交付金申請の状況や交付後の事務手続きについて担当課長の答弁を求めたい。</p>	<p>地域子どもの未来応援交付金の新たな連携によるつながりの場作り緊急支援事業については、現在、県内での申請件数はない。事務手続きは、交付申請をして決定をもらった後で町との委託契約を行い当該年度終了時に実績報告を、県を通して内閣府に行う。</p>	<p>引き続き国等の状況を注視していく。</p>	<p>子育て支援課</p>
	<p>②現在子ども食堂が使用している江尻防災施設は、建物の外壁が殺風景である。中学生などに公募依頼して夢のある外壁にできないか。</p>	<p>江尻防災施設は、建設の際に神社及び地元住民との協議が進められている。外壁についても協議を行っていききたい。</p>	<p>令和4年12月に神社関係者との協議を行った。今後も定期的に会議を行い、連携しながら進めていく。</p>	<p>危機情報管理課</p>
	<p><b>3. 河川敷の公園化問題について</b> ①中村字江口の三ツ合橋の袂にある河川敷はかなり広大である。国土交通省に依頼して子どもが安全に水遊びできる公園として整備していただきたい。 ②昔は子どもが各地区にあるきれいな水の池で泳いだりしていたと聞く。安全に水遊びのできる河川敷公園を整備すべきであると考え。担当課長の答弁を求めたい。</p>	<p>水辺に親しむ公園整備について、国土交通省のかわまちづくり支援制度がある。市町が推進主体となり計画を作成し、国土交通省に登録する必要があるため、制度の活用の可能性について調査研究していく。</p>	<p>制度についての検討を引き続き行っていくとともに、2月13日に旧吉野川出張所、続く14日に徳島河川国道事務所および四国地方整備局へ公園整備を含む堤防の整備要望を行った。</p>	<p>建設課</p>
	<p><b>4 道路行政問題について</b> ①北島町は県内で唯一人口が微増している。将来の道路行政として旧吉野川や今切川堤防道路の2車線化と安全対策を検討すべきである。町長の見解を求めたい。 ②河川敷堤防道路は曲線が多くガードレールもない箇所も多い。拡幅も視野に入れ整備を検討されたい。</p>	<p>堤防上の道路拡幅は、町が事業主体となるが、堤防の構造にも関わるため国土交通省との協議が必要になる。 また、ガードレール設置についても協議し、渋滞緩和や交通安全に取り組んでいく。</p>	<p>道路拡幅には用地確保が必要となり多大な時間と費用が掛かることが想定されるので、費用効果などを考慮し安全対策を行っている。</p>	<p>建設課</p>
	<p>③給食センター出口で、水路にかかる橋が鋭角になっている。改修できないか。</p>	<p>橋は、給食センターの給食配送車の出入りにあわせ斜めにかかけられており、右折する際は鋭角となる。今後、関係各課と協議し、改善を検討していく。</p>	<p>改修する方向で検討している。</p>	<p>給食センター</p>
	<p>④北村字西蛭子の交差点で一軒だけ飛び出して、以前にも事故があった。改修できないか。担当課長の答弁を求めたい。</p>	<p>地権者との用地交渉が不調となり、現在の道路線形となった経緯がある。再度地権者と話し合い問題解決に向け取り組んでいく。</p>	<p>地権者と接触し話し合いを行ったが、解決には至らなかったため引き続き話し合いを続けていく。</p>	<p>建設課</p>
	<p><b>5. 交付税問題について</b> ①北島町の地方交付税は、今年14.9%増額だが一覧表を見ると県内で一番少ない。交渉すべきではないのか。 ②板野郡関係は全般的に少ない。人口的にもおかしいのではないか。町長の見解を求めたい。</p>	<p>特別交付税は、普通交付税にて措置されなかった特別な需要等を考慮して決定され、人口規模が直接影響するものではない。 また、交渉により増減するものではないが、算定の詳細については開示されておらず、県には透明性の確保に努めてほしい。</p>	<p>左記により完結。</p>	<p>総務課</p>
	<p><b>6. 清掃事業及びし尿処理の直接投入方式導入について</b> ①徳島市の広域化については、一向に進む状況ではない。脱炭素の観点や焼却炉の状況では一刻の猶予もない。バイオ燃料化処理を早急に検討すべき時期にきているのではないか。 ②三豊方式を取り入れた、民営化も視野に入れ検討すべきであると考え。町長の見解を求めたい。</p>	<p>焼却炉は昭和60年の稼働から37年使用しており、対応年数がかかり超過している。広域処理施設の進捗として、地域住民への説明会が開催され、意見を集約し、問題点を検討したうえで、連絡会議を開催するとのことである。会議では広域処理施設の早期稼働を要望していく。</p>	<p>徳島市の広域処理からの脱退表明により連絡会議が解散となった。他市町との連携、焼却施設の大規模修繕、バイオ処理と民間による焼却の組合せなど、あらゆる方向から調査・研究し、よりよい方法を模索・検討していく。</p>	<p>清掃センター</p>

令和4年第2回定例会一般質問進捗状況

質問者	質問内容	答弁内容	進捗状況及び今後の対応
	<p>③し尿処理の直接投入方式について藍住町は、すでに導入している。北島町は鳴門市などと流域下水道処理場への直接投入を検討しているが一向に進んでいない。現状と今後について担当課長の答弁を求めたい。</p>	<p>現在、藍住町のし尿投入による終末処理場への負荷を検証している。今後は、本町同様し尿処理施設が老朽化している流域の関係自治体と、し尿投入に向けた協議を進めていく。</p>	<p>し尿投入施設の広域化参加の意向確認の判断材料となる施設規模や処理方法等についての検討をしている。</p> <p style="text-align: right;">下水道課</p>
	<p>7. 課編成問題について まちみらい課は、観光開発や商工業発展のため事業を進めるべきであるとし、清掃事業と併せ、し尿処理を一つの課として独立させてはどうか。予算説明もすっきりするのではないか。</p>	<p>行政課題への対応強化や効率的で機能的な業務体制が図れるよう関係課所と連携し、機構改革を検討していく。</p>	<p>環境関係の再編についての協議を関係課所と協議（3回）をした結果、現状の課所のままの体制とし、職員間の協力体制強化を目指すこととしている。</p> <p style="text-align: right;">総務課</p>